

「E-ディフェンス 超高層建物加振実験見学会」 受付は締め切りました。

主催：日本地震工学会

スケジュール (予定)

14:00	新神戸駅出発
14:45	E-ディフェンス到着
15:00	E-ディフェンス紹介
15:30	実験開始
17:00	E-ディフェンス出発
17:45	新神戸駅到着・解散

案内 地図：<http://www.bosai.go.jp/hyogo/access.html>

集合・解散：JR 新神戸駅 E-ディフェンスまでは送迎バス利用（集合場所の案内 参照）

問い合わせ：本会事業企画委員会委員担当：佐々木智大（独立行政法人防災科学技術研究所）

E-mail: tomo_s@bosai.go.jp

今回の超高層建物加振実験の内容、当日予定等にお問い合わせください。

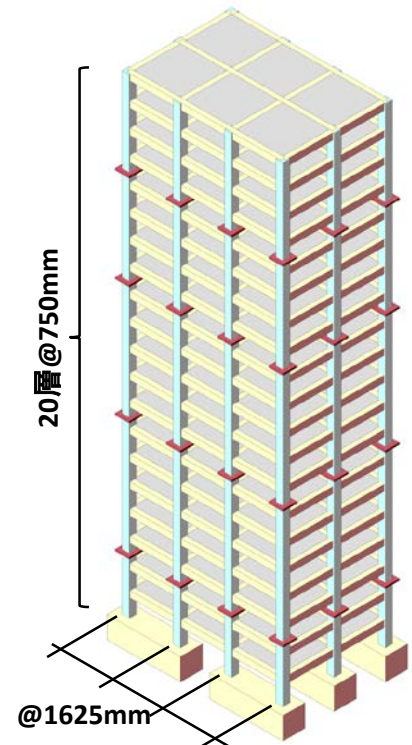
縮小 20 層 RC 建物試験体の震動実験 長周期地震動に対する RC 造建築物の安全性検証方法に関する検討

国土交通省建築基準整備促進事業の「27-1 長周期地震動に対する鉄筋コンクリート造建築物の安全性検証方法に関する検討（平成 22～24 年度）」では、(株)大林組を幹事とし、鹿島建設(株)、(株)小堀澤二研究所、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)竹中工務店、および(独)建築研究所の共同により、長周期地震動を受ける超高層鉄筋コンクリート造建築物の応答評価に関する調査研究が進められており、その検証実験のひとつとして、超高層建物試験体を用いた震動実験が実施されます。

本実験は、長周期地震動を受ける超高層鉄筋コンクリート造建築物の挙動を把握し、このような地震動に対する安全性検証のための資料を得ることを目的として、1/4 縮小超高層鉄筋コンクリート造建物試験体（1 体）を製作し、E-ディフェンス震動台により長周期地震動で加振を行うものです。縮小モデルではありますが、実際の超高層建物の挙動を検証する初の実験であり、解析精度を検証するための貴重なデータを得ることができると考えられています。

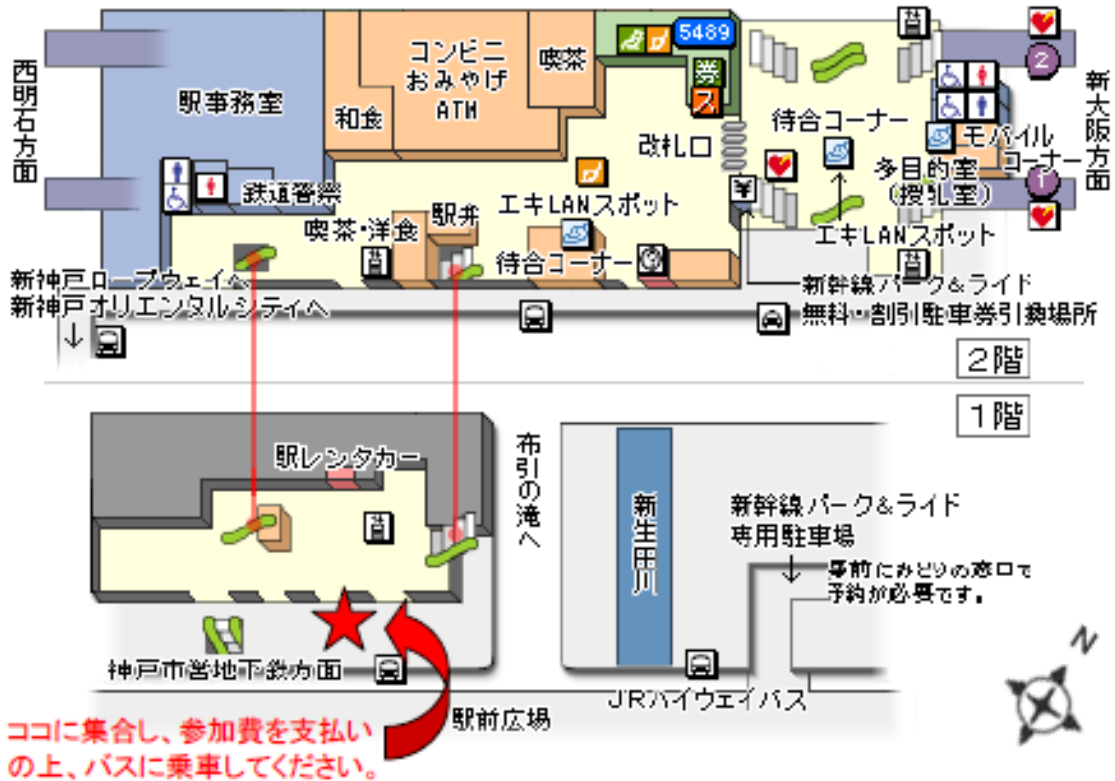
試験体は1/4に縮小した20層の超高層鉄筋コンクリート造建物であり、高さは20層@750mm=15m、平面寸法は2×3スパン@1625mmです。柱は225mm幅の正方形断面であり、梁は150mm×200mmの矩形断面です。

本実験で入力する地震動は、東北地方太平洋沖地震時に東京都内で観測された地震動や東南海・東海地震を想定した人工地震波等を予定しています。今回の公開実験では、東北地方太平洋沖地震時の観測記録の入力レベルをL2地震相当に調整して加振を行います。



集合場所のご案内

- 【集合時間】 平成24年8月29日(水) 13:55 (13:40より受付開始)
- 【集合場所】 JR新神戸駅 一階 (下図★参照)
- 【参加費】 2,000円(正・法人会員) 3,000円(会員外) 1,000円(学生)
- 当日お支払い：おつりが無いようご準備ください



※ 集合場所★から送迎バスまでご案内致します。バスには「日本地震工学会」のステッカーが表示されています。お間違えのないようご乗車下さい。

緊急連絡先：日本地震工学会事務局 03-5730-2831

